

6. 公益財団法人アジア生命保険振興センターへの移行

(1) 渡航費支援制度の導入(ASIA 2007-2008、OLIS 2009-)

渡航費支援制度の導入

平成 19 年(2007 年)5 月にマレーシアで開催した国際セミナー形式の OLIS ASIA 2007 Kuala Lumpur において、職員の派遣を希望しながら渡航費用の負担が困難な機関への対外協力支援として、カンボジア、ミャンマー、フィリピン 3 개국 8 名に対して参加費を支援した。翌平成 20 年(2008 年)10 月にタイで開催した OLIS ASIA 2008 Bangkok においてもカンボジア、ラオス両国 2 名に対して交通費、滞在費支援を行った。平成 21 年(2009 年)からは、「セミナー等参加渡航費の支援制度に関する規程」を定め、渡航費用の負担が困難な機関の東京セミナー参加者に対して協力支援を開始した。

渡航費支援の人数実績

平成 21 年(2009 年)	24 名
平成 22 年(2010 年)	26 名
平成 24 年(2012 年)	23 名
平成 25 年(2013 年)	25 名
平成 26 年(2014 年)	23 名
平成 27 年(2015 年)	18 名
平成 28 年(2016 年)	23 名